

平成21年度沖縄県医師会親睦囲碁大会報告

～広がり～

世話人 公立久米島病院 村田 謙二

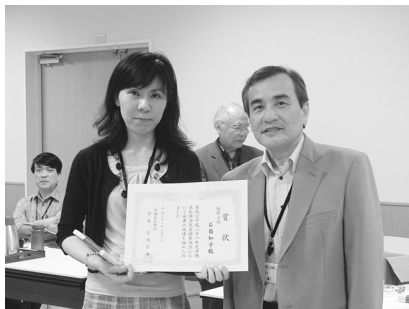


去る2月11日（建国記念の日）に上記大会を開催しました。昨年に引き続き多方面からゲストをお迎えして、総勢25名（医師会17名、ゲスト8名）の参加になりました。昨年に比べて9名の増です。昨年この稿で、那覇市医師会の囲碁愛好家の先生方に参加を呼びかけました。今回は6名の先生方が応じてくださって感謝です。毎年成人の日で開催される南部地区医師会主催の親睦囲碁大会（こちらにもゲスト参加歓迎の大会です。私は図々しく毎年参加しています）に負けない規模になってきました。

今回ゲストに関して、特筆すべき事が3点あります。まず第1点、医師会事務局の城間三男さんと西原民雄さんが参加してくれたことです。囲碁大会では、参加者は楽しんでいるので、時を忘れていますが、運営する側は長丁場、いくら職務とはいえ退屈ではなかろうかと、毎度すまない気持ちで気兼ねしていました。このお二人は自ら楽しみながら会を運営していただけたと信じています。

第2点、琉大医学部に囲碁部を結成してくれた廣田圭昭君（学5）の参加です。囲碁が老人向けの趣味と誤解されて久しい中、若者が碁を

覚えてくれる、実に嬉しいことです。積極的に関わってサポートしていきたいと考えています。以上のお三方は、実力的には5～6級なので、Cリーグを作り競ってもらいました。結果、優勝は城間さん、準優勝は廣田君でした。第3点、昨年に引き続き参加していただいた、女流の「でいご会」の大將格、石嶺知子さん、新聞でも大きく報道されたので、ご存じの方もいるでしょう。全九州、山口県にまたがる大きな大会の女流の部でみごと優勝されました。去年は6段で参加してもらいましたが、その実績を買って今年は7段で参加してもらいました。昇段のハンディを物ともせず、5段から7段まで計8名のAリーグで見事3連勝、優勝を勝ち取りました。ただ脱帽するのみです。少し脱線しますが、女流囲碁会には女流アマ都市対抗戦という5人一組団体戦で、クラス別に分かれています。全国から実に700人程の選手が集う大規模な大会があります。開催場所は各県が持ち回りですが、来年11月には沖縄で開催される可能性が高いそうです。そのため「でいご会」はレベルアップを計っており、今回の石嶺さんの強さもその現れでしょう。沖縄大会が実



Aリーグ優勝の石嶺知子さん



Bリーグ優勝の金城光世先生



Cリーグ優勝の城間三男さん

//////////////////////////////// 趣味のグループ //////////////////////////////////

現するなら物心両面で応援してあげたいものです。Aリーグの準優勝は2勝1敗で小生でした。正直できすぎです。

さて、Bリーグは1級から4段まで総勢14名、私見ではこのクラスが囲碁を最も純粋に楽しめます。5段以上になると、不甲斐ない負け方はしたくないとつい力が入り、長考しがちで、対局も少なめになりがちです。このクラスになると、碁を打つ楽しみの中にも苦痛が入り交じります。不甲斐ない負け方の後では、もう碁を打つのを止めようと思ったりするのです。でも気がついてみると、敗因はどこだろうと石を何度も並べ直して分析し反省する自分がいるのです。Bリーグ優勝は中部地区の金城光世先生（4勝0敗）、準優勝は那覇市の上原清昇先生（4勝2敗）でした。

今年は初めての試みとして、大会は県医師会館で行い、懇親会は今年の会場の「んかっか」で行いました。残念なことは、懇親会参加は約半数に減ってしまったことでした。今回参加された大見洋二先生（那覇市）から後日大会運営に関していくつかの提言を頂きました。有り難いことです。来年度はその提言も受け入れて運営していくつもりです。ただ難しいのは、勝負

を重視した大会運営を行うと、親睦の意味合いが薄れてしまい、敷居の高い大会になってしまうことです。そのあたりのバランス感覚、舵取りをうまく行いながら参加者の広がりやの輪を大きくして行きたいと思います。また開催の時期に関してですが、これまでは季節的にもバラバラでした。私の一案ですが、南部地区医師会のように日程を固定するのも一法かと考えます。その場合11月3日（文化の日）ではいかがかと、理由ですが、囲碁は東洋が世界に誇りうる偉大なる文化であるという私の持論に基づいています。ただ単に覚えやすいという意味もあります。ビールを片手に碁を打ちたいという抗しがたい誘惑には、7月の海の日もついでに固定して開催する手もあります。年2回の開催が医師会の予算上難しければ、1回は自主開催でも良いと思いますがいかがでしょうか。ご意見いただけると嬉しいです。

末筆ながら大会、懇親会を支えてくださった医師協同組合、沖医商事の皆さん、寛味「んかっか」の皆さん、昨年引き続き碁盤、碁石を無料で貸し出して下さった曙園の仲村有伸さんに心からの謝意を表したいと思います。参加者の皆様また近々の対局を楽しみにしています。

